○あづまぎく類ノ所屬ニ就テ (北川政夫)

あづまぎく類ハ通常 *Erigeron* ト考ヘラレテキルガ最近此類ヲ *Aster* ニ合一スル學者モアル。

數年前北朝鮮ノ高山デ又一昨年ハ長白山ノ頂上附近デみやまあづまぎくヲ採リ、本年ハ大興安嶺ノ高原デたいりくあづまぎくヲ充分ニ觀察スル機會ヲ得タ。たいりくあづまぎくハ十二年程前ニ伊列克得(イレクテ)附近デ採集シタガ學名不明ノ儘デキタ所偶々東京帝大ノ教室ヲ訪レラレタ京都帝大ノ北村四郎博士ニ早速伺ツタ所即座ニ *Aster alpinus* LINNAEUS デアルコトヲ教示サレタ。成程一見 *Erigeron* ノ如クデハアルガ ヨク見レバ明ラカニ *Aster* デアル。其以來私ハたいりくあづまぎくハ *Aster* デアリ所謂あづまぎくノ類ハ *Erigeron* デアルト信ジテキル。所ガ此頃ニナツテ ONNO ト云フ外國學者ヲ筆頭ニあづまぎくヲ *Erigeron* ヨリ放チ *Aster* ニ入レル人モ次第ニ出テ來タ。

今試ミニたいりくあづまぎくトみやまあづまぎくトヲ比較シテ見ルニ、双方共一莖一頭ノ可憐ナ草本デアル。一見シタ所實ニ相似タモノノ如クデアル。然シ注意シテ觀察スレバ自ラ明瞭ナ區別點ガ見出サレル。先ヅ第一ニ毛ノ性質デアル。コレハ前川博士モヨク私ニ語ラレタコトデアツテ *Erigeron* ニ於テハ特殊ナ軟イ多細胞ノ長毛ガ見ラレルガ *Aster* デハカヤウナ例ヲアマリ聞カヌヤウデアル。今たいりくあづまぎくノ總苞片ヲ検スルニ單細胞ノ尖ツタ毛ガ生ジテ居リ、みやまあづまぎくノソレニハ軟質多細胞ノ長毛ガ蔽フテキル。後者ノ狀ハむかしよもぎ等ト全ク變ル所ガナイ。次ニ總苞片ノ長サガ內外ニ依ツテ長短ガ明ラカニ異ツテキルノガたいりくあづまぎくデアリ、內外ノ片ガ略同長デアルノガみやまあづまぎくデアリ、コノ點モむかしよもぎト軌ヲ一ニスル。第三ハ舌狀花デアルガ、舌部ガ稍廣ク淡青紫色ヲ帶ビテよめな又ハえぞぎく(野生品)ヲ偲バセルヤウナ感ジヲ與ヘルノガたいりくあづまぎくデアリ、舌部ガ狹ク質モ軟カデ紅紫色ヲ帶ビ、舌狀花ノ數ノ多イノガみやまあづまぎくデアル。

結局スル所たいりくあづまぎくハ *Aster* ノ、みやまあづまぎくハ *Erigeron* ノ特徴ヲ立派ニ具備シテキルノデアル。私ハ何故ニあづまぎく群ダケ *Erigeron* カラ引離シテ *Aster* ニ入レナケレバナラヌカ其理由ガ一向ニ判ラナイ。

「感ジ」デ植物ヲ分類スルナドトハ全ク非科學的デアツテ決シテ許サルベキデハナイデアラウ。然シ標本デ見較ベテコンナニ相違シタ形態ノモノガ何故同ジ屬ニ入ツテキルノダラウト考ヘテ不滿ヲ覺エテキタガ、サテ野外ニ出テ實際ニ兩植物ノ生育シテキル姿ヲ見ルニ及ンデハツトスルコトガアル。成程何處カニ兩種ガ相離ルベカラザル容貌ヲ帶ビテキルコトニ氣付キ先人ノ明ニ頭ガ下ルノデアル。私ハあづまぎく類ヲ *Erigeron* ト考ヘタ古イ學者モ矢張リコノ烱眼ヲ持ツタ人デハナカツタラウカト考ヘル。

○Roegneria Gmelini KITAGAWA (北川政夫)

Roegneria Gmelini ト云フ組合セハ「滿洲國植物考」ニ於テ發表シタモノデアル。和名ニこかもじぐさ及ビいぬかもじぐさヲ使用シタノハ誤リデアツテコノ植物ハ滿洲デハ興安嶺方面ニノミ見ラレ、恐ラクソレヨリ東部ヘハ及ンデ居ラヌデアラウ。從ツテ玆ニこうあんかもじぐさノ新名ヲ與ヘル。私ハ北鮮ヤ日本ニ產スル本種類似ノ植物ハ別種ト考ヘテキル。北鮮ノ高山ヤ長白山ノ頂上近クニ生育スルモノニハ既ニはくとうかもじぐさノ名ヲ付ケタ。